

# 最優秀賞に法政大学4年、藤井瞳さん

## 第41回土光杯全日本青年弁論大会

将来を担う若き論客が弁論を競い合う「第41回土光杯全日本青年弁論大会」(フジサンケイグループ主催、カートエンターテイメント特別協賛)が1月11日(土)、東京都内で開かれました。2023年の出生数が過去最少を更新し、婚姻件数も90年ぶりに50万件を下回るなど少子化が著しい中、「人口減少社会にどう立ち向かうか」をテーマに10人の弁士が熱弁を振るいました。

【アーカイブ動画】 <https://www.youtube.com/watch?v=kv2I4Bsvn1Q>



最優秀賞の土光杯は、法政大学経済学部4年の藤井瞳さん(22)＝写真＝が受賞。藤井さんは「未来を担う子供が貧困状態で希望を失っている。貧困の連鎖を断ち切る必要がある」と主張しました。

昭和を代表する財界人で「メザシの土光さん」として語り継がれる土光敏夫氏の出身地、岡山県にちなんだ「特別賞岡山賞」は公務員の小澤佳奈さん(27)が獲得。小学校で外国にルーツを持つ児童が増える中、日本語教育を通じて価値観を共有し「ともに日本を良くする仲間」という姿勢で向き合うことが大切だと訴えました。



入賞者には正賞のトロフィーのほか、副賞として旅行券が贈られました。

土光杯、岡山賞以外の入賞者は以下の通り(敬称略)

《フジテレビ杯》 安岡優愛(17)＝桐蔭学園高校2年

《ニッポン放送杯》 旭海太郎(29)＝会社員

《産経新聞社杯》 天野雄介(28)＝会社員

### 【土光杯全日本青年弁論大会】

行政改革に大きな足跡を残した故土光敏夫臨時行政調査会長の「行革の実行には若い力が必要」との呼びかけに応じて、フジサンケイグループが昭和60(1985)年に創設。テーマはその後拡大され、日本の将来を担う若者の主張の場として毎年開催される。